資 料 提 供
令和7年9月 30 日
課　　名　健康福祉局健康危機管理課
（感染症・疾病管理センター）
担 当 者　片平
電話(直通)　082-513-3079
（内線）　3079

# 広 島 県 感 染 症 発 生 動 向 月 報

## [ 広島県感染症予防研究調査会 ]

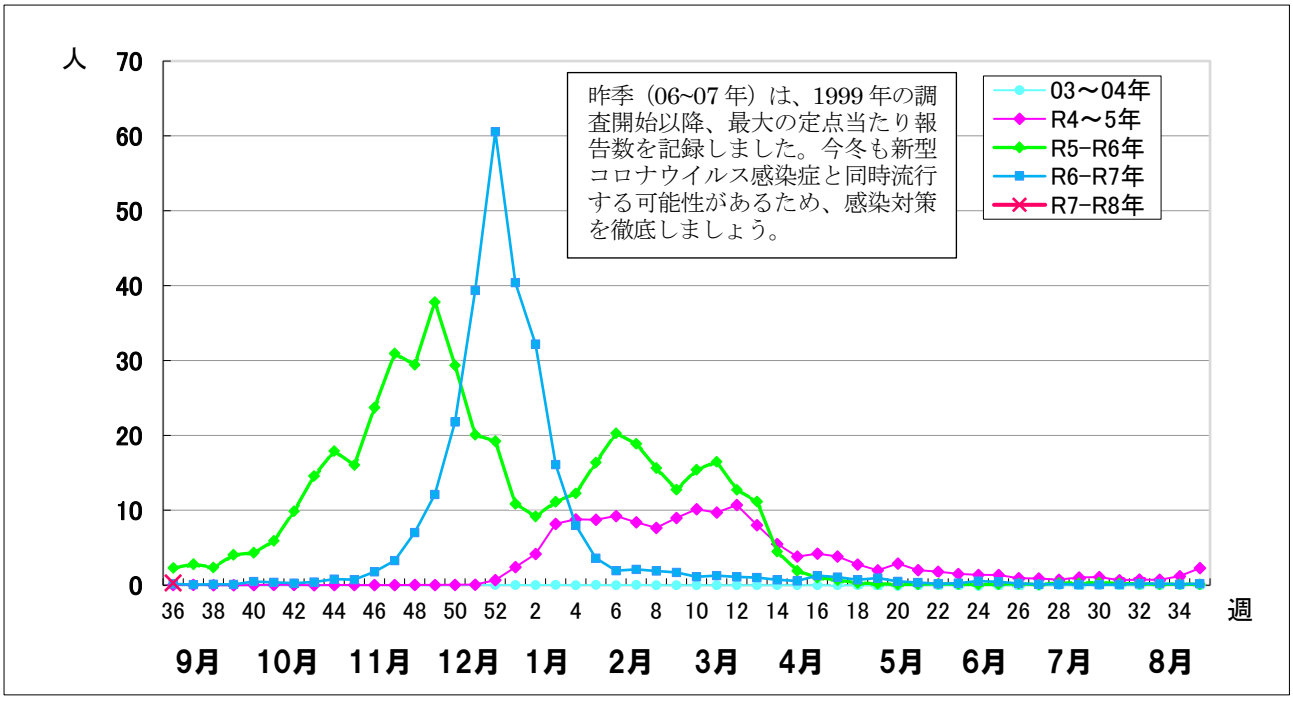
## （ 令和7年9月解析分 ）

### ◎　今月のトピックス

## ■ 季節性インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時接種可能です！！

- 昨年同様、例年よりも早い９月下旬から、季節性インフルエンザワクチンの供給が開始され、順次接種が始まっています。新型コロナワクチンとの同時接種も可能です。
- 季節性インフルエンザワクチンは、流行のピークに間に合うよう、例年 12 月中旬までに接種を終えていることが望ましいとされています。
- 国内のインフルエンザについては、昨年は 11 月から 12 月下旬にかけて急激に感染拡大し 12 月末には調査開始以降、最大の定点当たりの報告数を記録しました。今年も、昨年と同様に感染拡大する可能性があることや、新型コロナウイルス感染症と症状の類似した疾患による医療負荷を軽減する観点から、積極的なインフルエンザワクチン接種の検討をお願いします。
- インフルエンザワクチンと他のワクチンとの同時接種については、特に医師が必要と認めた場合に可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。
- 症状などからインフルエンザが疑われる場合は、重症化や他の人への感染の予防のため、早めに医療機関を受診しましょう。

（季節性）インフルエンザの発生状況（定点当たりの報告数）




### 今季の季節性インフルエンザワクチンの供給量

厚生労働省によると、今季の供給量は、近年の平均使用量を超える供給量が見込まれており、ワクチンを適切に使用すれば不足は生じないと考えられています。

## 2 疾患別定点情報　　【速報値】

### （1） 定点把握（週報）五類感染症

令和7年8月分（令和7年8月4日～令和7年8月31日：4週間分）

| No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当たり | 過去5年平均 | 発生記号 | No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当たり | 過去5年平均 | 発生記号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 急性呼吸器感染症(ARI) ※2 | 14,515 | 39.44 | - | ↘ | 11 | 突発性発しん | 46 | 0.21 | 0.32 | ↘ |
| 2 | インフルエンザ ※3 | 63 | 0.17 | 0.22 | ↗ | 12 | ヘルパンギーナ | 177 | 0.80 | 1.14 | ↓ |
| 3 | 新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1 | 2,312 | 6.28 | - | ↑ | 13 | 流行性耳下腺炎 | 7 | 0.03 | 0.05 | |
| 4 | RSウイルス感染症 | 115 | 0.52 | 1.99 | ↑ | 14 | 急性出血性結膜炎 | 0 | 0.00 | 0.00 | |
| 5 | 咽頭結膜熱 | 47 | 0.21 | 0.38 | ↘ | 15 | 流行性角結膜炎 | 69 | 0.96 | 0.35 | ↗ |
| 6 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 300 | 1.35 | 1.05 | ↘ | 16 | 細菌性髄膜炎 | 0 | 0.00 | 0.01 | |
| 7 | 感染性胃腸炎 | 940 | 4.23 | 3.51 | ↘ | 17 | 無菌性髄膜炎 | 6 | 0.08 | 0.02 | |
| 8 | 水痘 | 35 | 0.16 | 0.07 | ↗ | 18 | マイコプラズマ肺炎 | 117 | 1.46 | 0.17 | ↗ |
| 9 | 手足口病 | 58 | 0.26 | 4.43 | ↓ | 19 | クラミジア肺炎 ※4 | 1 | 0.01 | 0.00 | |
| 10 | 伝染性紅斑 | 515 | 2.32 | 0.01 | ↗ | 20 | 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0 | 0.00 | 0.00 | |

※1 R5年第19週（5/8～）から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上（他の定点把握疾患として報告されている患者数（No.2～6及び12）を含む）※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

### （2） 定点把握（月報）五類感染症

令和 7年8月分（8月1日～8月31日）

| No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当たり | 過去5年平均 | 発生記号 | No | 疾患名 | 月間発生数 | 定点当たり | 過去5年平均 | 発生記号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 性器クラミジア感染症 | 66 | 3.00 | 3.28 | ↗ | 25 | ﾒﾁｼﾘﾝ耐性黄色ブドウ球菌感染症 | 65 | 3.25 | 3.26 | ↘ |
| 22 | 性器ヘルペスウイルス感染症 | 20 | 0.91 | 0.78 | ↗ | 26 | ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | 0 | 0.00 | 0.12 | |
| 23 | 尖圭コンジローマ | 16 | 0.73 | 0.70 | ↘ | 27 | 薬剤耐性緑膿菌感染症 | 0 | 0.00 | 0.02 | |
| 24 | 淋菌感染症 | 29 | 1.32 | 1.17 | → | | | | | | |

※「過去5年平均」：過去5年間の同時期平均（定点当たり）
※ 報告数が少数（10件程度）の場合は発生記号は記載していません。

*急増減疾患！！（定点当たり前月比2倍以上増減）*

○急増疾患　新型コロナウイルス感染症(covid-19)（2.44 → 6.28）
　　RSウイルス感染症（0.23 → 0.52）
○急減疾患　手足口病（0.57 → 0.26）
　　ヘルパンギーナ（1.82 → 0.80）

発生記号（前月と比較）

| | | |
|---|---|---|
| 急増減 | ↑ | ↓ | 1:2以上の増減 |
| 増　減 | ↗ | ↘ | 1:1.5～2の増減 |
| 微増減 | ↗ | ↘ | 1:1.1～1.5の増減 |
| 横ばい | → | | ほとんど増減なし |

定点把握対象の五類感染症（週報対象20疾患、月報対象7疾患）について、県内152の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

| | 内科定点 | 小児科定点 | 眼科定点 | STD定点 | 基幹定点 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 対象疾病No. | 1、2、3 | 1～13 | 14、15 | 21～24 | 16～20、25～27 | |
| 定点数 | 36.5 | 55.5 | 18 | 22 | 20 | 152 |

## 3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況　　【速報値】

| 類別 | 報告数 | 疾患名（管轄保健所） |
|---|---|---|
| 一　類 | 0 | 発生なし |
| 二　類 | 31 | 結核（31）〔西部保健所(2)、西部東保健所（3）、東部保健所（2）、北部保健所（4）、広島市保健所（14）、呉市保健所（2）、福山市保健所（4）〕 |
| 三　類 | 21 | 腸管出血性大腸菌感染症（21）〔西部保健所(1)、西部東保健所（1）、東部保健所（1）、北部保健所（3）、広島市保健所（6）、呉市保健所（1）、福山市保健所（8）〕 |
| 四　類 | 15 | A型肝炎（1）〔広島市保健所(1)〕 |
| | | E型肝炎（1）〔広島市保健所(1)〕 |
| | | デング熱（1）〔東部保健所(1)〕 |
| | | レジオネラ症（4）〔西部保健所(2)、広島市保健所（1）、福山市保健所（1）〕 |
| | | 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)（1）〔福山市保健所(1)〕 |
| | | 日本紅斑熱（7）〔東部保健所(3)、広島市保健所（1）、呉市保健所（1）、福山市保健所（2）〕 |
| 五　類 | 593 | カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（2）〔広島市保健所(2)〕 |
| | | クロイツフェルト・ヤコブ病（2）〔福山市保健所(2)〕 |
| | | バンコマイシン耐性腸球菌感染症（1）〔呉市保健所(1)〕 |
| | | 後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）（1）〔広島市保健所(1)〕 |
| | | 梅毒（26）〔西部保健所(4)、西部東保健所（1）、北部保健所（1）、広島市保健所（18）、福山市保健所（2）〕 |
| | | 百日咳（561）〔西部保健所(47)、西部東保健所（238）、東部保健所（45）、北部保健所（4）、広島市保健所（133）、呉市保健所（33）、福山市保健所（61）〕 |